



胸上小だより

中学校区一貫教育校園

第8号

思いやりのある子・考える子・たくましい子

「わかる」「できる」「楽しい」

令和3年12月3日

子どもたちが輝いた ふれあい発表会！

2学期も残すところあと3週間となりました。気温も一気に下がり、季節が冬に変わりました。



さて、先月11月13日（土）、今年度のふれあい発表会が行われました。コロナ禍での発表会のため、今年度も観客の入れ替え制とさせていただきます。また、換気のため、窓もしっかり開けさせていただきました。皆様のご協力のおかげで安心して開催することができ、感謝しております。

コロナの感染状況は、運動会の時と違って落ち着いていましたが、いつ感染が拡大するかわからないという不安のもとでの3週間の練習でした。そのため、最悪のことを考えて、リコーダーの演奏を中止しました。また、大きな声での飛沫感染を考えてマイクを使用しました。制限のある中、子どもたちも先生方もいろいろ考え、工夫した発表ができたと思います。

発表会などおうちの方に見ていただく行事は、長い練習期間を経て本番を迎えます。実はこの練習期間がとても大切です。友だちと助け合ったり、励まし合ったり、できるようになるまで、家でも根気強く取り組んだり・・・この、たくさんの時間が子どもたちを成長させ、あの堂々とした発表となるのです。

また、本校では行事の後の振り返りも大切にしています。「これからも何でもあきらめずにチャレンジしたい。」の言葉に成長を感じ、嬉しく思いました。

おうちの方の感想

- みんな台詞も演技も上手にできていてびっくり。楽しみながらお友達と協力して頑張ってこられたと思います。また、一つ成長が見られてとても良かったです。
- 最後の曲は特に盛り上がり、子どもたちが楽しそうに演奏していたので良かったです。友だちと協力して演奏する姿に感動しました。
- 発表会に向けて準備・練習を頑張ってきた様子がよく分かりました。楽器の片付けでは、「重い？大丈夫？」と友だちを気遣いながら楽器を運んでいたのが印象的でした。演奏以外でも協力し合い、思いやる気持ちが育っていることに成長を感じました。
- 一人一人が頑張っているのが、よく分かり、役になりきっていて、感動しました。家でも、友だちと「教え合った。」「練習した。」もたくさん聞かれました。
- みんなでリズムを合わせられるように家でも練習したり努力したりする姿を見ることができました。
- 少ない人数でしっかり演奏できていました。

皆様の温かい拍手に感謝しております。また、休み明けに「おうちの人に誉めてもらった。」と嬉しそうに話してくれる人もいました。頑張りをしっかりと認め、誉めてもらう事が、子どもたちのなによりのご褒美です。ありがとうございます。

ふれあい発表会

1・2年

台詞の言い方や動きを自分たちで考えました。また、練習の時には、2年生が進んで用意をされていて感心しました。歌声にじんとききました。



3・4年

カップスでは、手拍子やカップの音が良く合っていました。自信をもってしていましたね。練習ごとに音色が合っていく合奏に、毎日の努力を感じます。カップス、ボディーパーカッション、歌、合奏、やりきりました。



5・6年

各学年での合奏は、人数を感じさせないほどの迫力がありました。見てくださる方を楽しませようと考えた最後の合奏、自分たちも楽しんでいて、自然と笑顔になりました。感謝の気持ちが伝わってきました。